

2019年10月17日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、中国「EBP社」買収により EC ソリューション領域を強化

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746 億 981 万円）は、海外本社「電通イージス・ネットワーク」※を通じて、中国の E コマースエージェンシー「Shanghai EBP Internet Technology Co. Ltd.」（本社：上海市、Founder & CEO：Frank Xu、以下「EBP社」）の株式 100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

2012年に設立された EBP社は、世界最大の E コマース市場である中国において、有力な E コマースエージェンシーとして急成長を遂げてきました。現在では、アリババ等のマーケットプレースを主とした EC のコンサルティング、市場開拓戦略の策定、統合マーケティングコミュニケーションから、オンラインストアの運営、顧客体験の最適化、ブランドのデータ活用等に至るソリューションを、幅広い顧客に対して提供しています。

本件買収の目的は、当社グループのグローバルネットワーク・ブランドの 1 つで、デジタルパフォーマンス領域に強みを持つ「iProspect」（アイプロスペクト、本拠地：英国ロンドン市）の中国における事業基盤の拡大と EC マーケティングに関するサービス機能の強化にあります。今後当社は、EBP社のブランド呼称を「EBP, an iProspect Company」（EBP・アン・アイプロスペクト・カンパニー）へと改称し、より競争力の高い E コマース統合マーケティングサービスを提供します。

なお、本件が当社の 2019 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク」（ロンドン）は、10 のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10 のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeum を指します。

【EBP社の概要】

正式社名：Shanghai EBP Internet Technology Co. Ltd.（EBP社）

本社所在地：中国上海市（北京市にも営業拠点を持つ）

設立：2012年7月

株主構成：株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%

収益(Revenue)：2,512 万人民币元（約 3.8 億円）（2018 年 12 月期）

代表者：Frank Xu (Founder & CEO)

従業員数：82 名

事業内容：E コマース統合マーケティング領域全般のサービスを提供

以上